

感染状況・医療提供体制の分析(7月21日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (7月14日時点)	現在の数値 (7月21日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	52人 (2.8人)	125人 (6.6人)	→	<p>総括コメント レベル4. 感染が拡大しており特別な警戒が必要</p> <p>新規陽性者は人口10万人当たり6.6人と増加。県内でクラスターも複数発生。全県的に患者が発生している。 東京都や大阪府、兵庫県では新規陽性者増加が止まらず。デルタ株流行・人流増加を踏まえると、連休明け更なる感染拡大が予想される。マスク着用や手指衛生等の基本的な対策は常に有効であり、今後の感染拡大に備えて、熱中症対策と各自の感染管理の両立を行う必要がある。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	6人 (12%)	4人 (3%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	41人	72人	→	
		県南西部	11人	42人	→	
		高梁・新見	0人	7人	→	
		真庭	0人	2人	→	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	24人	36人	
割合 (③/①)			46%	29%	→	
医療提供体制	④入院患者数	7人	18人	→	<p>総括コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	1%	4%	→	<p>入院患者数、宿泊療養者(70人)、自宅療養者(16人)とも増加。予定手術など含め、通常の医療は提供できる体制である。</p>	
	⑥重症者数	1人	1人	→		